

令和6年8月1日開催 第1回魚沼市総合計画審議会 1班

出席委員：桑原哲哉、三友泰彦、桜井正弘、杉山一弘、松川寿也、古屋昭博、大竹真理夫、  
佐藤鈴子

欠席委員：なし

説明員：星産業経済部長、戸田市民福祉副部長

事務局：五十嵐企画政策課長、渡邊係長

### 1-1-2 道路機能維持向上（担当課：産業経済部建設課）

委員 説明の中で、「3. 施策を構成する事業、事業費、取り組み内容及び評価」で事業を3つ、「4. 成果指標の達成状況」で指標を2つ挙げてあるが、「4. 成果指標」の歩道整備延長と「3. 施策を構成する事業、事業費、取り組み内容及び評価」とのリンクはどのようになっているのか。歩道整備延長という指標と「3. 施策を構成する事業、事業費、取り組み内容及び評価」のどの事業に関わっているのかということをお聞かせいただければと思います。

産業経済部長 歩道整備延長ですが、「3. 施策を構成する事業、事業費、取り組み内容及び評価」にはない市道整備事業で行なっております。なぜ、この歩道整備の延長を成果指標の中に入れたかということなんですけども、「1. 基本情報」の主要な施策で、安心して便利な生活基盤の整備としています。安心して通れる空間を整備する、人にやさしい空間の中で人にやさしい歩道を整備するという意味合いで、この成果指標の中に歩道整備延長も入れてあります。委員のおっしゃる通り、「3. 施策を構成する事業、事業費、取り組み内容及び評価」「4. 成果指標の達成状況」が少しリンクしていない部分はございます。

委員 「5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標」の中で、橋梁点検の現状値127、最終目標値530橋とあります。それに対して橋梁補修工事が、現状値3、最終目標値が8とあり、極めて少ないように感じるが、老朽化が進んでいる橋がこれしかないということでしょうか。

産業経済部長 橋梁点検530橋は市内の全数であります。それを5年の中で点検していきなさいということで法律で決められております。その点検した中で、状態の悪いものから順番に補修しています。最終目標値8橋については、主に15m以上の長い橋で補修が必要な橋梁数を挙げております。短い橋梁については入っていませんので、令和7年度までに補修を行わなければならない15メートル以上の橋梁については8橋ということですよ。

委員 そうするというと、長い短いって判断基準があって、緊急度ってところはあまり考えてないということでしょうか。

産業経済部長 緊急度が高くて長い橋が8橋ということです。

委員 「4. 成果指標の達成状況」道路整備とか、県市管理の整備延長の目標が芳しくないとなると、これについては現状維持か拡充か改善かとなった時、進めていくのか、諦めて改善見直しをするかなど判断になると思うが、このまま現状維持で、この水準でやっても問題ないというふうな判断をしたということか。

もう1点目、「8. 施策に対する評価」の課題と今後の方向性に、機械除雪のオペレーターの高齢化とか担い手の確保、それから緊急度や受益者数等を踏まえて、計画的な更新を図っていくという言葉と並べられるように、そういった課題に対して、今後施策を構成する事業として、その課題に対する事業というのを今後やっていかれるおつもりがあるのか。2つの質問になります。

産業経済部長 歩道整備延長の目標と現状は、半分以下ということになっておりますが、なぜこんな長い目標なのかといいますと、現状値で平成28年から令和元年の実績を見ると、年間600mぐらいはいけるかと考えていました。実際は、県管理の道路、市管理なども含めての延長なので、実際は、現状が精一杯かなってというふうには思っております。現在の第二次計画の目標は目標として、次期総合計画の目標立てるときは見直しが必要と思っております。

次に、機械除雪のオペレーターの部分ですが、昨年度からオペレーターを増やすために、市独自の補助事業で免許を取るためや、オペレーターの働く環境を良くするために独自補助事業を作って、除雪事業者に対して利用についてお知らせしていますが、実績としてはあまり利用がありませんでした。今年度も引き続き予算を取っておりますので、周知をしていきたいと思っております。

あと消融雪施設については、全部で井戸の数が600強あります。その中で、去年は4本取り替えていますし、ポンプも大体15ヶ所から10ヶ所ぐらい、入れ替えを行っています。単純計算すると、とてもそれだけでは間に合わないんですけども、ただ、単純に耐用年数として割ると相当な予算が必要になりますので、それぞれの状況を見て、本当に必要な部分から修繕なり更新をかけていくような事業になっております。

委員 担い手の確保の事業をしていることを、ぜひ、活動指標の中に入れて課題の克服や評価がしやすくなると思う。

委員 「2. 施策目的」で、高齢者や障害のある人が安全に移動できるユニバーサルデザイン化を促進とあるが、これに対しての事業が歩道整備延長かと思ったが、違うような話だった。これに対して、施策目的に挙げられてるがちょうどいい事業がなかったということでしょうか。

産業経済部長 ご指摘の通りです。ユニバーサルデザイン化ということで、新しく道路を切るときは、当然道路を整備するという意味合いで、目標の中には、歩道整備がありますが、構成する事業には入っていません。

副会長 それでは、この施策の総合評価について、班の見解をまとめたいと思います。

市が行った二次評価の総合評価は、現状維持ですが、これについて、皆さん、ご意見はいかがでしょうか。

委員 道路機能の維持向上とか、冬季間の機械除雪とか融雪というのは本当に市民生活に欠かせないインフラだと思います。

ただ、予算にも限りがありますので、ここに書かれてるように、緊急度や受益者を見ながら、効果的に効率的にやる必要がありますので、私は現状維持ではいいと考えています。

委員 全体的に見ると、消雪だとか、一定の評価に達成してるんじゃないかと思いつて、この現状維持でいいと思います。

委員 やれば一番いいですけど予算ありますので、現状維持で私もいいと思います。

副会長 現状維持という評価で、審議はよろしいでしょうか。

(異議なし)

副会長 それでは、1-1-2 道路機能の維持向上の評価は、現状維持とさせていただきます。

## 2-2-2 森林資源の活用の推進（担当課：産業経済部農林整備課）

委員 森林資源の利用量の達成率が28%となっています。最近、魚沼市の新築着工数を見ると年間60棟くらい思いますが、5ページの成果に8棟とあります。

新築で2割弱ぐらいしか使われてないのかなと感じました。この部分を今後どういうふうにPRするとか、例えば補助金を出すとか、いろんな施策を考えていच्छゃると思うんですけども、その辺をお聞かせいただきたい。かなり、力を入れて発信しないと、このまま上がっていかないんじゃないかというふうに思ったのが1点です。

もう1点、木質バイオマスエネルギーと書いてあります。カーボンオフセットとか、クレジットとかホームページを見ましたが、令和4年秋以降、動きがないんですけど、その辺とSDGsの関連の指標も出てるので、それに今後どんなふうにお考えなのかお聞かせいただきたい。

産業経済部長 森林資源の利用量のカウントの仕方ですが、市が把握できる造林事業、市が実施している事業ですとか、魚沼市森林組合、湯之谷森林組合、戸田組や生産者がやっている事業の利用できる材の量をここで示しております。なぜ、令和5年度、令和4年度の利用量が少ないかといいますと、利用できる材を出す間伐ではなくて、そのままそこに捨てるというか置くような間伐を中心にやっています。これですと、市の材が出ませんが令和6年度からは利用間伐を、材を出す間伐をやっていこうということで計画をしております。

「5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標」の地元産木材の使用量ですが、魚沼市産の材料がないから、少なくなっているというふうに考えておりますので、

今年、利用できる市産材を出しますので、そうしてくれば上がってくるのではないかと  
いうふうに考えております。

クレジットの関係ですけれども、魚沼市の森林で出しますと、これ以上はクレジット  
量が上がってこないという状況です。今、300トンぐらいで、主に足立区に200トン  
売っていますが、それ以上は計算してもクレジットが上がってこない。材を出そうと  
すると、主伐すると出る量がまたぐっと減るので、主伐はもうできない状態になっ  
てます。

どのようにして魚沼市産材を多く出してそれを使えるようにするのか、いろいろ  
考えているところでありますが、実際うまく川上から川下まで連続して流通がう  
まくいっていませんので、試行錯誤しているところです。。

委員 一次評価、二次評価で達成度が低いという一番下の評価となっている。そもそも、  
年間予算が1,500万程度で推移してるわけですし、年間当たり何トン利用するかとい  
う指標になっていますが、このKPI自体がちょっと現実的じゃないなという気がし  
ます。

最近市がやっている施策でかなりいい感じになってるのが、例えばブナ林などで  
家具などを作っている。結構高付加価値で、それなりの効果がある。この指標でこ  
ういう取り組みのスタイルだと成果は低いし、貢献度もそんなに高くないという  
気がします。

これは、今あるこの結果に対してどう思うかという審議ですから、的確な指摘では  
ないですが、KPI自体が、これじゃおそらく達成できないでしょっていう感じがしま  
す。

企画政策課長 KPIは、後期計画を進めていく中で、合わなくなってきたと感じていま  
す。その辺りは、今後の次期計画の中でしっかりと考えていく部分だと思いますので、  
その辺もご意見いただければと思います。

委員 確認ですが、例えば改善見直しになったとして目標達成するためには事務事業  
の見直しを改善する必要があるといったときには、この施策目的は変わらず、ただそ  
れに対して例えば、材木のブランド化をすとか、そういう内容は付加価値としてつ  
いていたりするのでしょうか。例として、魚沼市産材が使われていけばその経過はど  
うかというのも、この改善見直しの中に含まれてる可能性はあるのでしょうか。

企画政策課長 そのとおりです。

委員 森林のカタログを見たが、建物に使うものであればかなりトン数は稼げるが、か  
なり多くのものが子供のおもちゃとか、椅子家具だとかそんなに重いものではなか  
った。たくさん出たとしてもそんなにトン数はないので、指標で、トン数で図るって  
いうのは、販売した売上の数とか、別の指標で図るような形ができれば、もう少し把  
握できるのかなと思います。

企画政策課長 総合計画で示しているKPIが現実的でないと感じます。次期総合計画

は、検証して検討すべき必要があるなど考えますし、そうしていきたいと思います。  
委員 課題及び今後の方向性の3行目に、市外に向けてPRと販路拡大が必要だとありますが、その次は、令和6年度から市地産地消ということで地元で使いますという記述になってます。一方、事業事業評価シートは、首都圏の友好都市の方に拡大を進めていくという記載がありますので、この課題及び方向性の欄は、整合がとれるような書き方を加えた方がよくわかるのではないかと思います。

副会長 それでは、この施策の総合評価について、班の見解をまとめたいと思います。市が行った二次評価の総合評価は、改善・見直しですが、これについて、皆さん、ご意見はいかがでしょうか。

副会長 改善・見直しという評価で、審議はよろしいでしょうか。

(異議なし)

副会長 それでは、2-2-2 森林資源の利活用の推進の評価は、改善・見直しとさせていただきます。

### 3-3-1 すべての市民が自立できる環境（担当課：市民福祉部福祉支援課）

委員 「4. 成果指標の達成状況」のNo.3の平均月額工賃が令和5年度実績より、かなり上がっている。理由は何かあるのでしょうか。

市民福祉副部長 市内に、この就労支援事業所B型というのは、5～6ヶ所あるんですが、それぞれ工夫を凝らしておりまして、何とか工賃拡大に努めております。特に最近、食品系ですとか、あとは草刈り、それから封入作業などに力を入れております。特に食品系は、市の高齢者の方への配食サービスに採用されたというところが今回大きく伸びた要因というふうにとらえております。

委員 仕事が増えてお金が増えているならよろしくないかなと思っていて、単価が下がってるいと良くないので、単純に時給が上がってるという意味で賃金が増えているのならいいのですが。

市民福祉副部長 令和4年度と令和5年度を比較して、工賃も若干ですが伸びて、個人へ行き渡るところも伸びております。仕事も令和5年度は少し増えたというところも入っていると思います。

副会長 仕事も増えて、時給も向上したってということですか。

委員 一番いいのは、仕事は増えず、時給が上がるというのがいいですが。

委員 平均賃金が上がったんじゃないですか。

市民福祉副部長 事業所も、国の最低賃金が上がれば、そこまでは当然いかないですが、世の中に合わせるというところはあると思いますが、最近また上がっていますが、同じレベルでっていうとまだまだそこまではいかない現状でございます。

委員 やっぱりKPI、指標が少し低いなという感じがします。

就労した人の数が現状値3人に対して、最終的に5人という数値も低いと思いませんし、月額工賃も、前からの課題ですけれども、ちょっと低すぎるという気がしております。

魚沼市の場合は、こういう就労の場も、そこそこ数もある。一般の人達が、ノーマライゼーションっていうか、障害がある人もない人も一緒の社会の中で、物語をやっているっていうそういう意識がちょっとまだ低いんですね。ですから、こういうところに、公のお金をどれだけ使ってるかみたいなことには関心があるけれども、物の考え方とかそういうものを促すための施策が欲しいなという気がします。

魚沼市は、住みやすいまち日本一を目指してことですので、障害のある人も一緒に暮らせるまちを目指すというような、そういう方向性を持ってもらいたいと思いますので、そのためには指標が低すぎるっていうのが正直な感想です。

委員 1つ質問を先にさせていただきますが、「7. 施策目標に向かってどのような成果があったのか」で、障害者基幹相談支援センターの開設とありますが、「5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標」で、事業No.116 相談支援専門員の新規養成者数で令和4年度、令和5年度とも0人となっています。支援センターの中で活躍をされていく相談支援専門員の方というのは、事業No.116の相談支援専門員の方になるのでしょうか。

市民福祉副部長 基幹相談支援センターは、昨年度立ち上げまして市で直営です。相談支援専門員も1名おりますが、その職員は外側の社会福祉法人から出向して出ております。市全体とすると、この相談支援専門員というのが本当に今足りない状況で、本当であればもうあと3人、4人、5人と市内にいるとありがたいところなんですけど、なかなかこの資格を目指してくれる方がいないということが非常に課題になっております。

障害をめぐる方のご家庭状況も複雑化している中で、この相談支援専門員というのが、介護保険で言うとケアマネジャーの様な役割を担うところになります。大変不足をしておりますので、8月7日の外部評価の施策の課題にもリンクするんですけども、人材育成に力を入れていきたいと考えております。

委員 窓口は増えたけれども、それを専門的に相談に乗っていただける方が少ないというような現状かと思っておりますので、今後の期待も含めて、ぜひとも行政につきましてはご尽力いただきたいと思っております。

委員 障害者の理解を深めるための研修会は、一般の方を対象にした研修会でしょうか。

市民福祉副部長 聴覚障害の方々に対するろう者理解のための研修会というのを、ここ数年、毎年開催しております。特に最近、手話がドラマなどで非常に社会的に話題になったところもありまして、昨年度開催したところが、ボランティアセンターの1階の大きい部屋が満員になるぐらい参加がございました。

そういったところで、関心も高まっているんですが、課題は、聴覚障害の方の理解ということで市民向けに実施していますが、それ以外のいろんな障害の分野があるんですが、そこに向けての市民に向けての理解、研修会に手を付けていないのが課題です。

研修については今年度も開催予定です。

委員 意見というかお願いなんです、「障害者」という言葉が「害」と使わない方向で、社会的に動いているので、ホームページでチラシなどを見たんですけど、内部的な書類はそれいいんですけど、外に向かつては、「害」という言葉を使わないような方向で、次年度でもいいんでこれからお願いしたいと思っています。

教育委員会でも、障害者の「害」を漢字じゃなくてひらがなにするとか、介助員を、支援員という言葉にしたりとかそういう方向でやっています。世間社会の流れがそんなふうになっているので、マイナスイメージを使わないような形をお願いしたいと思います。

市民福祉副部長 漢字の件については、何年か前から市の中でも、いろんな場面で課題で出ることがあったのですが、福祉の事業所の方とか当事者の家族会の方とか、字の表示ではないんだということをおっしゃる方が多く、どこに合わせるかというところで、国の法律の方がこの漢字を使っていますので、それに合わせて、魚沼市では漢字を使っています。ただ、こういった会でお話いただきましたので、そこについては改めて話し合いをしたいと思いますし、審議会の皆様からご意見あればお聞かせいただきたいと思います。

副会長 「5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標」で、事業No.129 軽度生活支援事業、除雪援助及び生活援助の利用世帯数が、令和5年度の実績が減っているというのは、件数が減っているというか雪の量が減ってるから申請がなかったということでもいいでしょうか。

市民福祉副部長 今ほど副会長がおっしゃられた通り、今年の冬が大変小雪でありましたので、実際に使われる方が少なかったということで、その結果、この数字になっております。例年であれば、500件ぐらいは申請があります。

副会長 「5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標」で、事業No.116 障害があることで差別や嫌な思いをした割合ですが、この調査の方法はどのようにしているのか。

市民福祉副部長 3年に1度策定する障害者計画の際に、手帳などをお持ちの方に対して調査をした中で、手帳をお持ちになっていて何か嫌な思いをしたことがありますかというような設問を作っております、そこで出た回答となっております。

副会長 こういうところも先ほど他の委員が言われたように、偏見をなくすようなPRが、大事になってくるんじゃないかというふうに感じます。

委員 相談支援専門員の方が少ないですとか、そういうサービスをしてくださる人が

少ない。指標達成するには、障害者一人ひとり、いろんな特性があって、人それぞれのニーズを把握するために人の手で聞いたりするとなると、人が少ないということは指標を達成する上でも大きなマイナスになるのではないかなというふうに思います。

人材確保、育成の面で、どの分野でも人がいなくて人材の獲得競争になっているので、人がいない中でも何かこういうことが仕組みとしてうまく進むような、例えば農業で言えば規模拡大するだとか効率化を図るとか、今後は人がいない中でどうやってやっていくかっていうことも、もしお考えがあればこの中に入れられてもいいのかなというふうに思いました。

市民福祉副部長 魚沼市では3年ほど前から、介護人材の確保の方にすごく力を入れており、昨年度、令和5年度からは障害福祉の方の人材確保にも予算を付けて、事業所が採用するにあたって確保ができるような支援を始めたところです。まだまだ実績としてはできていないところもあるんですが、引き続きその辺りは続けてまいりたいと考えています。

副会長 それでは、この施策の総合評価について、班の見解をまとめたいと思います。市が行った二次評価の総合評価は、現状維持ですが、これについて、皆さんご意見はいかがでしょう。

委員 できれば改善・見直しをお願いしたい。

委員 新たな事業とすると拡充でもいいのかなとか思ったんですけど、その人材確保のため、統制していくための予算を投入する。改善見直しもいいのですが、また振り出しから戻るような気もするので、何かをするのであれば拡充の方がいいのかなと考える。

委員 改善・見直しか拡充ってのは非常に際どいですよね。先ほど、他の委員がおっしゃったように、市内の事業者が、これをどの程度されてるのかなとすごく思っていて、確かにこういう支援体制、高齢者だったり、そういう人のものすごくバックアップがすごくできてると思うんですけど、現役世代とか社会復帰に向けた取り組みが果たしてどうなのかなと思って、本当にどっちも言えるので拡充か改善・見直しかという感じですよ。

副会長 拡充と改善・見直しの説明をお願いします。

企画政策課長 まず、目標に向かっているか向かっていないかでご判断いただければと思います。目標に向かっている場合は、現状維持か拡充。目標に向かっている、成長する可能性がある場合は拡充。ちょっと目標に向かってないんじゃないかという判断をしたときに改善・見直し。

目標に向かってないというふうに皆さんが思われれば、改善・見直しなのかと思います。

委員 私たちは、新しい取り組みをされてるので目標に向かっているという判断で、前

向きに取り組んでいると感じている。

副会長　今の説明を踏まえ、多数決で決定しますので、挙手をお願いします。

（現状維持と判断された方【2名】、拡充と判断された方【4名】、改善・見直しと判断された方【1名】）

副会長　では、多数決から拡充という評価で、審議はよろしいでしょうか。

（異議なし）

副会長　それでは、3-3-1すべての市民が自立できる環境の評価は、拡充とさせていただきます。